

B-23 布のイメージとその表面特性について (I)

愛知教育大。日下部信幸
中京短大 古里 季吉

目的. 被服の審美的性能や感覚的性能などに関係する重要なものとして、布材料の表面特性がある。布の表面特性には、光沢に関係する反射特性、平滑性に関係する摩擦特性、凹凸性とその形状、毛羽、織構造などの表面物性と、光沢感、手触り、凹凸感、テックスチャーなどの表面物性にもとづく風合い、さらに表面物性や表面風合いによって生ずるイメージがあげられる。したがって、布の表面特性を明らかにするには、布表面にもとづく物性、風合い、イメージを総合的に検討する必要がある。布地のイメージ調査に関しては川崎らの婦人スーツ地の好みに関する研究があるが、本研究は、とくに表面状態を異にする各種の布がどのようなイメージとしてとらえられているかについて調査し、最終的には、表面の異なる布の個有イメージを明らかにし、表面物性や表面風合いとの関係について総合的に研究することを目的としている。

方法. 用いた試料は綿織物30種(ポイル, ローン, ブロード, 金巾, 天竺, ギャバジン, サテン, オックスフォード, クレープ, ネル, 別珍, コール天, タオル, レース, ニット, 楊柳, ビケ, サッカー, 蜂巣織など)である。イメージ用語の抽出は、ハイファッション・モード・エ・モード, 装苑, 若い女性, non-no (いずれも1976年発行分) と, 風間ら²⁾, 松尾らの研究から約200語収集し, 表面特性, 物理特性, 感覚特性に関係する用語をそれぞれ10~15項目選出した。

結果. 調査結果の概要を当日発表する。

- 文献. 1). 川崎ら; 織消誌 12 103 (1971)
2). 風間ら; 織消誌 8 125 (1972)
3). 松尾ら; 織構誌 22 T134 (1970)